

関係各位

レンゴー株式会社
広報部

中期ビジョン「Vision120」の策定について

レンゴー株式会社は、2025年度から2029年度までの5カ年を対象期間とする当社グループの中期ビジョン「Vision120」を策定しましたのでお知らせいたします。その骨子は下記のとおりです。

記

当社グループは、1909年の創業からパッケージの製造販売を続け、現在は製紙、段ボール、紙器、軟包装、重包装、海外の6つのコア事業から成るヘキサゴン経営を推進しています。2029年度は当社にとって創業120周年にあたる年です。

このたび策定した「Vision120」は、「Creating the Future through Packaging／包装で未来を創る」をスローガンとし、長期的な視野に立って、価値創出基盤の強化および事業内容の質的強化を図り、企業価値向上を目指す指針となるものです。

<「Vision120」の最終年度の主な財務指標および重点テーマ>

(1) 最終2029年度（2030年3月期）の主な財務指標（連結ベース）

売上高	1兆2,000億円
営業利益	700億円
経常利益	720億円
EBITDA	1,350億円
ROE	8.5%
D/E レシオ	0.7倍

セグメント別の売上高および営業利益の内訳

セグメントの名称	売上高	営業利益
板紙・紙加工関連事業※	5,900億円	360億円
軟包装関連事業	2,100億円	120億円
重包装関連事業	560億円	30億円
海外関連事業	3,000億円	160億円
その他の事業	440億円	30億円

※ヘキサゴン経営の製紙・段ボール・紙器の各事業を総称したものです。

(1 / 2)

(2) 重点テーマ

① マテリアリティへの取組み

当社グループは、E S G課題の中で特に重要なもの（マテリアリティ）と特定された以下の4分野に経営資源を集中させ、企業価値を向上させるとともに、持続可能な社会の実現を目指します。

当社グループのマテリアリティ

- ・「パッケージプロバイダー」としての新たな価値創出
- ・地球環境との共生
- ・人を中心におく経営
- ・持続的成長に向けた経営基盤の強化

② グループ経営の進化／深化

事業環境の変化に対応するため、グループでの連携強化として「一貫体制の進化／深化」と「グローバル経営の進化／深化」を最優先課題と位置づけています。多様で高度なニーズに対し、グループ横断的に強みを活かすことでシナジーを最大限に発揮できる体制を構築します。

詳細につきましては、ホームページの「Vision120」をご参照ください。

「Vision120」の詳細はこちら

<https://www.rengo.co.jp/financial/vision.html>

以上